

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献すること…

DEC錠供給国数
32国

DEC錠供給量
25.2億錠

LF制圧達成国
8国

2 中長期の経営戦略

1. Deep Human Biology…

複数のバイオマーカーでヒューマンバイオロジーを理解し、認知症・難治性がん領域の創薬を推進。

3. 認知症エコシステム展開

日常から医療領域までを支援。パシャッとカルテ、テヲトル、ササエル、のうKNOWなどを提供。

2. 認知症領域の治療パスウェイ構築

レカネマブについて44の国と地域で承認取得。診断・治療・モニタリングの一連のパスウェイを構築・改良。

4. がん領域での薬剤耐性対策

レンビマ・ハラヴェンのバイオマーカーデータを活用し、Undruggableな治療標的をDruggableに変える創薬を推進。

3 対処すべき課題

① 創薬パイプラインの拡大

- ・ AHEAD 3-45試験（プレクリニカルAD対象）2028年度トップライン取得に向け進行
- ・ E2814・E2511・E2025など複数パイプラインをフェーズⅠ/Ⅱ以上で開発中
- ・ バイオマーカー同定・ブレインヘルスパネル構築で次世代創薬とプレジジョンメディスン推進

② グローバル市場拡大

- ・ レカネマブで44国承認・12国申請中。点滴維持投与と皮下注製剤の申請進行
- ・ レンビマについて肝細胞がん・食道がん・腎細胞がんの併用療法の適応拡大推進
- ・ アジア地域でのエコシステム構築拡大と医療較差是正への取り組み

③ 人財価値と組織基盤強化

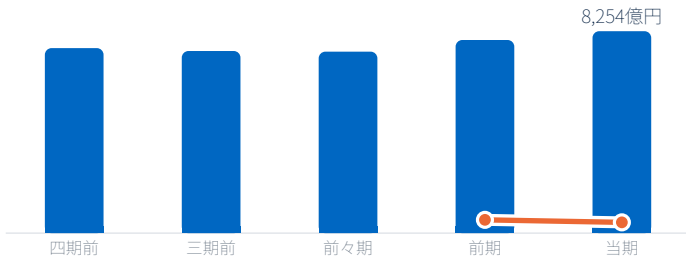
- ・ 統合人事戦略で社員ウェルビーイング・多様性・成長機会の充実を推進
- ・ グローバルエンゲージメントサーベイで人事戦略を検証・強化
- ・ Human Capital Report発行で人的資本経営と企業価値向上を連動

面接で使えるポイント

- ・ 患者様と生活者の皆様の『生ききるを支える』というミッションのもと、認知症領域でレカネマブの44国承認を達成し…
- ・ hhcエコシステムを通じて、医療較差の是正と健康憂慮の解消に取り組み…
- ・ Deep Human Biology Learning研究開発やバイオマーカーの独自開発で…

証券コード 4523

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,254億円営業利益率
5.3%財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 69.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,123万円
医薬品内 9位/80社平均年齢
44.5歳
医薬品内 40位/80社平均勤続
18.5年
医薬品内 5位/80社女性管理職
14.3%
医薬品内 29位/41社男性育休
97.5%
医薬品内 11位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ファイザーとエーザイ、片頭痛の予防（発症抑制）・治療薬「ナル

